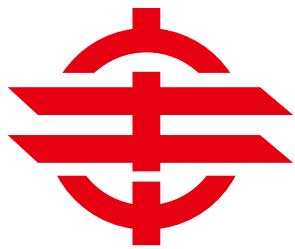


ぬく さ と と な き
温もりの海郷 渡名喜



広報 となぎ



主な内容

CONTENTS

- 令和2年度施政方針 …… 2
- 教育長就任挨拶 …… 6
- 令和2年度渡名喜村役場事務分掌 7
- 平成30年度決算状況の公表 … 8
- 平成30年度決算に基づく … 10
財政健全化判断比率の公表
- 寄贈マスク・医師紹介 …… 11
- 令和元年度卒業式・修了式 12
- 令和2年度入学式 …… 12
- 寄贈・こんにちは赤ちゃん 13
- 令和2年成人式 …… 14
- TONAKIスポーツフェスタ2019 15
- 敬老会 …… 16
- 離島フェア …… 17
- パークゴルフ大会2019 … 17
- 令和2年出初め式 …… 17
- 役場からのお知らせ …… 18



令和2年度 渡名喜幼小中学校入学式

【編集・発行】

渡名喜村役場 総務課

〒901-3692 渡名喜村1917番地の3

TEL:098-989-2002・2317・2066 FAX:098-989-2197

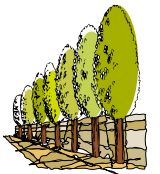
E-mail:tonaki_soumu001@vill.tonaki.lg.jp

人口と世帯

令和2年4月末現在

総人口	351人
男	198人
女	153人
世帯数	215世帯

令和2年度施政方針



渡名喜村長 桃原 優

はじめに

令和元年度一般会計補正予算案をはじめ、令和2年度一般会計当初予算案を含め重要な審議に先立ち、村政運営に対する私の施政方針を述べる機会をいただきお礼申し上げますと共に、議員の皆様及び村民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本県の2020年度一般会計予算は堅調な県内景気や消費税率引き上げ等による地方消費税清算金や地方交付税等の増により、総額7,514億円を計上し、前年度比で165億円の増となったものの、沖縄振興予算は3,010億円に据え置かれ、「一括交付金」は前年度比79億円減額の1,014億円になりました。

「沖縄21世紀ビジョン」も残すところ2年となり基本計画

の集大成に向け、取り組む年になつていますが、次期振興計画を見据えて新たな事業の構築や見直しが必要とされています。

本村においても「少子高齢化」に伴う人口減少の問題、農業・漁業の後継者育成、安定的航路の確保、基幹産業の推進、国保制度改革への対応、厳しい財政等、課題は山積しております。

2016年2月に策定しました渡名喜村人口ビジョン及び総合戦略においては、2035年までに総人口を500人までに回復すると掲げています。

その目標達成に向けて、役場職員をはじめ、村民ひとり一人が「どうにかしないといけない」の危機感を持ち取組んで行かなければなりません。

地方自治体の「地域の公共性を自らの意思で担う」を基本理念に、質の高い行政サービスと行財政体制の整備を行い、「村民の意志が反映する村政の実現」を目指し、住民の福祉・医療の向上、農林水産業、教育・文化等の各種事業を「やればできる」の精神で推進してまいりますので、議員の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 行政一般について

「元気で豊かな、村づくり」

形成に向けて、人口減少に歯止めをかけ、事業の推進を図るなかで、本村ならではの昔からの原風景の保存・活用に努め、創造する豊かな村づくりの推進にむけ「渡名喜村景観むらづくり」計画の設置に向けた取り組みや、老朽化が著しい役場庁舎の建設に向けて「渡名喜村役場新庁舎建設基金」の設立を準備してまいります。

併せて過疎地域自立促進計画も含め、沖縄振興特別推進交付金を活用したヘリの利用料

金補助を継続して行い、荒天時の交通経路の確保や、多目的拠点施設で歴史民俗資料館の開館や預かり保育等の推進に取組み、保護者の就労環境の整備に努めてまいります。

また、厚労省の「同一県内で、同じ所得・世帯構成であれば同じ保険料水準の統一」の国保制度の改革については、医療機関の利用環境が統一でない等の理由により、へき地離島の地域性を考慮していただくよう継続協議を要望してまいります。

また、行政サービスの維持・向上に向け、行政の執行役である職員のスキルアップを目指すし、研修・講演会の開催に継続して取組み、さらに村政運営の収入の要となる税収等の徴収率を高めて財源の確保に努め、村民への各種行政サービスの充実、情報の共有、可視化に努めてまいります。

2. 農業振興について

赤土の流出防止対策や環境保全・美化推進事業等で刈取

った草木で有機肥料を作る堆肥施設の整備事業に取り組み、農家に堆肥を安く提供することにより、肥料代の経費削減に努めると共に、有機無農薬栽培を奨励し、食の安心・安全が注目される現代社会において、他農作物の生産性の向上を図ることはもとより、もちぎびや島人参のブランド化をより一層高め、農業従事者の所得の向上を図ってまいります。

さらに、もちぎびを原料とした焼酎づくりやリュウキュウガネブ栽培の事業再開に着



手し、新規就農者や後継者育成に取り組み、耕作面積の拡大や引続き湛水被害の原因究明と対策及び農村基盤整備事業に農業委員会と連携し取組んでまいります。

3. 水産業の振興について

近年、漁業就労者の高齢化や後継者育成の問題、さらには漁獲高の減少等、水産業を取り巻く環境は厳しい状況にあります。

これまで以上に漁業協同組合と連携のうえ、漁業再生支援推進事業の活用により、ヒトエ草、シャコ貝の養殖等、つくり育てる漁業を引き続き推進し、離島フェアーでも人気の高い商品となっている、シャコガイの塩辛、イカの燻製やシーラのチョウギリ等の生産拡大に繋がるよう支援をして参ります。

また、観光産業等と連携のうえ体験型漁業やダイビング体験事業に取り組み、魅力ある漁業・活力ある漁業を推進して参ります。

4. 漁港整備について

渡名喜漁港は、漁業の活動拠点であると同時に、島と島外を結ぶ唯一の生活航路として、島の暮らしや産業振興に重要な役割を担っています。

これまでも、国、県のご配慮により、航路の拡幅、防波堤の整備や船揚げ場の拡張など整備されてきましたが、冬場の時化等においては、いまだに数十分の欠航があり、村民生活のみならず観光産業等にも支障をきたしているのが現状であり、引続き沖防波堤消波ブロック設置等を継続のうえ、新港漁港南側の防風柵防錆事



業の早期補修に取組んで漁港を整備し、漁業就労者の安全と村民の生活航路の安定的確保に努めてまいります。

5. 観光産業について

平成30年4月に「渡名喜村観光協会」を設立し、令和2年1月には、観光振興整備事業により「渡名喜村観光案内所」が完成し、本村観光振興のステーションとしてスタートしています。併せて、あがり浜周辺の整備やシュンザ公園等の整備をおこない、魅力ある観光地創りに取り組んでまいります。

また、約30年間に及び村の玄関口として、村民、観光客や多くの関係者が利用した「渡名喜村ターミナル」を老朽化に伴い解体し、一括交付金の特別枠を活用し新たなターミナル建築を進めてまいります。

自然環境が優れていることで、平成9年に島全体が県内で三番目となる「渡名喜県立自然公園」の指定を受け、平成12年には県内で二番目とな

る、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定された、他に類を見ない特異な景観を有する渡名喜島は県内外から高く評価されており、集落内や観光スポット周辺の緑化及び美化活動を継続実施し、外来植物の駆除や在来植物の保全育成事業に努めます。さらに、ビーチ等のクリーン事業を継続すると共に、空き家活用に取組み、移住、観光客の受入れ体制の整備を推進し、自然と文化の調和を基調とした魅力的な「となき島ブランド」の観光地作りに取り組んでまいります。

6. 福祉・保健衛生について

少子高齢化や多様化する福祉ニーズなど、社会環境が大きく変化していく中で、村民が安心して快適な生活を送るために、渡名喜村社会福祉協議会をはじめ、各種団体や専門的知識を持った機関と連携や協力を深め、保健、福祉、介護等の充実をはかり、福祉・保健衛生等の向上に努めて参ります。

各種事業計画等に基づいた予防や健康指導を行いながら、要介護者の在宅生活支援、障がい者の支援等や国保事業等で行っている特定健診、特定保健指導、住民健診や各種ガン検診等においても並行して推進するとともに、インフルエンザ等の予防接種においても、助成を継続し、村民の健康増進に努めてまいります。

また、福祉行政の活動の中で、介護予防事業等住民と直接関係しているのが、渡名喜村社会福祉協議会であり、村民が安心して老後を暮らせる健康づくりに不可欠であることから、今後とも、関係機関、各種団体と連携を図り、村民の健康管理や地域医療の充実に引き続き支援を行い、委託している地域支援事業や介護サービスも引き続き継続を図り、高齢者や要介護者の健康維持や栄養管理等について向上するよう積極的に努めて参ります。

母子保健事業においても、妊産婦、乳幼児及び児童の医

療費・健康診査等の補助や助成を行うと共に、母子の保健指導や母子推進員活動の強化を図り、次世代育成事業支援計画に基づいた事業を進めることにより乳幼児や児童の健全育成に努め、これまで行ってきた予防接種の継続、助成等を引き続き行うことにより、保護者の経済的負担の軽減に取り組みます。

さらに、新生児の健やかな成長と若者等の安住促進を推進する目的に、出産及び結婚者に対し、出産祝金と結婚祝い金及び高齢者福祉増進に、敬老祝い金等の交付についても継続してまいります。

妊婦の渡航費及び宿泊費の補助を継続し、子ども医療費についても「現物支給」に取組み、保険医療による医療費の自己負担分について窓口で支払うことなく、無料で医療が受けられる「窓口無料方式」の導入を継続して推進してまいります。

渡名喜村多目的拠点施設も建物は完成し、不動産登記



手続きや条例等の整備を行い、老人福祉センターが供用開始をしていますが、預かり所施設、渡名喜村歴史民俗資料館の開館に向けて推進してまいります。

7. 環境衛生について

村民が健康で快適な生活を営まれるよう、ゴミの分別収集と生ゴミ処理機及び小型ゴミ処理機の設置により悪臭やハエの発生防止等を行うなど、継続して環境の改善に努め、リサイクルセンターの建築によりゴミ処理・分別機能の向上を図り衛生的環境整備に取り組んでまいります。

また、蚊やゴキブリ、ねずみ等の温床になっていると思われる雨水排水側溝は、長年の風雨により浸食された道との境に段差が生じ特にお年寄りや子ども達の安全歩行に支障をきたしており、早急の対策を講じる必要があると捉えております。

さらに、集落内の清掃美化事業、蚊の駆除薬散布・焼却灰及び鉄等の廃棄物処理委託事業も引き続き実施し、村民が健康で安心して衛生的な生活ができる環境づくりに努めて参ります。

8. 簡易水道事業及び農業集落排水事業について

簡易水道は、昭和60年・61年度に布設整備され、昭和62年に供用開始され、平成16年度にこれまでの造水能力も増加され、すべての住民に対し安全で安定的な水道水を供給していますが、配水管においては耐震性も満たしてないため、老朽化による漏水等を未然に防ぐと共に、安定した水道事業

を展開していくため、沖縄簡易水道等施設整備費国庫補助金事業を利用し、簡易水道事業の広域化に向けて、土地の所有権移転登記手続きを早急に完了し、事業の早期実施に取り組む、安定した水の供給及び健全な事業運営に向け取り組みでまいります。

9. 消防防災について

サンゴ礁に囲まれている本島は、周辺が良好な漁場となっている反面津波等の災害に対しての特に西森周辺のリーフにおいては避難が困難な地形となつていきますので、西森の散策道と関連した避難道の設置や防災支援センター周辺整備や、観光防災力強化事業を活用した災害備蓄品の確保に努め、村民の安全と財産を守る環境づくりの一環として、防災・緊急医療体制の充実

消防団による、緊急時に対応できる体制をより一層向上し、防災体制や防火訓練を通じて、児童・生徒、お年寄りの方々など村民の防災に対する意識の向上に努めてまいります。

また、救急業務については、本村消防団と沖縄県消防指令センター沖縄県ヘリコプター等添乗医師確保事業運営協議会及び診療所や関係機関との連携を一層密にし、緊急搬送システムの強化充実に努めます。



10. 教育文化について

本村の教育行政の目標は「人材を以て資源と為す」を根

幹とする人づくりである。

本村の未来を担う子供たちが、自ら考え判断し行動する能力、そして、思いやりのある心、生まれ育った郷土を愛する心、豊かな人間関係形成を醸成するうえで、5感を張り巡らせて自然とふれあい、豊かな感性を育む遊具や運動器具を設置し体幹機能の成長を促す環境を整備してまいります。

また、離島のハンディを克服するため、児童・生徒の村外への学校諸活動及び交流学习への派遣費等の支援やICTの環境整備を行い、グローバルな社会に対応できる情報活用能力の育成、プログラミング教育の準備、指導体制を整えてまいります。

さらに、教育、学力の先進地である秋田県の小・中学校の「秋田県の学びの体験事業」及び「海外ホームステイ」へ引き続き派遣し、学ぶ意欲や姿勢、視野を広げ感性を豊かにする等グローバル社会へ対応できる「となきっ子」の育成を継続して支援してまいります。

本村においては、保育園がないことから、幼稚園における三年保育を実施しておりますが子育て支援のため、入園料及び保育料並びに給食費についても無料化を継続し、多目的拠点施設の預かり所の保育と連携を図り、幼児教育の充実と保護者の雇用促進に努めてまいります。

また、長年発刊が待ち望まれていた「渡名喜の方言辞典」の発刊を目指し取組んでいるところです。

さらに、毎年、多額の修繕費を費やし、老朽化が激しくなっている、教員宿舍の改築事業の早急な実施に取組み、島外からの教員の教育指導環境を整備してまいります。

11. 令和2年度沖縄振興特別推進市町村交付金事業は、

左記の事業を実施してまいります

記

- (1) 環境保全・美化推進事業
- (2) 離島苦解消移動手段安定化対策事業

(3) 児童・生徒の教育活動助成事業

(4) 観光振興整備事業

(5) 渡名喜村旅客ターミナル整備事業

(6) 渡名喜村フォトツーリズム事業

(7) 渡名喜村多目的拠点施設整備事業

(歴史的民俗資料館機能強化事業)

12. 令和2年度特定防衛施設周辺整備調整交付金事業

は、下記の事業を実施いたします。

記

- (1) 基金積立金
- (2) 幼稚園教諭派遣事業
- (3) 環境衛生事業
- (4) パークゴルフ場施設管理事業
- (5) 村道27号線カードレール改修事業
- (6) 農地・林道等パトロール車購入事業
- (7) トラクター購入事業
- (8) 堆肥生産施設整備事業
- (9) 遊具及び運動器具設置事業

(10) 海外ホームステイ事業

(11) 県外学びの体験事業

13. おわりに

これまで、令和2年度の村政運営にあたっての基本的な考え方、並びに主要施策の概要について述べてまいりました。各会計の予算は、次のとおりであります。

会 計 別 予 算	
一 般 会 計	1,473,145千円
国民健康保険特別会計	94,591千円
簡易水道事業特別会計	97,947千円
農業集落排水事業特別会計	10,609千円
後期高齢者医療特別会計	7,305千円
合 計	1,683,597千円



以上、その諸施策を確実に執行するにあたっては、最大限の効果を発揮できるよう、職員一丸となって意識を高く持ち、努力を怠らず、村民の福祉と生活向上に向け取組んでまいり所存であります。

村議会をはじめ、村民の皆様のご理解とご協力を賜りまして、すようお願い申し上げます。

令和2年度の施政方針といたします。



就任挨拶(2期目)



教育長 上原 雅志

4月30日に1期が終了し、5月1日付けで再任の拝命をうけ、気持ちを新たにしているところであります。

1期目は第100回水上運動会事業等において、村民及び郷友会・村出身者等、多くの方々にご支援を賜り感謝申し上げます。

2期目は子どもたちを初め村民の「井の中の蛙」からの脱却を目指し確かな学力の定着を図る等、世界に羽ばたく人材の育成と島づくり・村興しにつながる人材の育成を目指して参ります。

私は小学校5年生まで渡名喜で過ごし6年生になる時、転校していききました。50トンほどの渡名喜丸に乗り、「ふるさと(うさぎ追いしかの山、小鮎釣り

しかの川、夢は今もめぐりて、忘れがたきふるさと 志を果たしていつの日にか帰らん・」を歌いながら、島影がどんどん小さくなっていく光景を今でも鮮明に覚えています。何故、「ふるさと」を口ずさんだのだろうか時々考えたりしました。

10年ほど前、島の学校に務めたとき、幼少の頃にお世話になった方々がご健在で40余年前の思い出がよみがえり懐かしさが込み上げて来ました。学校行事や学校運営に沢山応援して頂きました。そして、教育長として務め始めると、ご健在であった方々が次第に遠くへ行ってしまう寂しくなっています。島での日々の生活を通して、幼少の頃

に可愛がられ大事にされた思いが次第に大きくなり、「ふるさと」を口ずさんだのは、島で可愛がられ大事にされたからだといふ気がします。

幼少の頃に抱いた気持ちや思いは人間の根幹をなすものでありと考へ、遠くへ行ってしまう方々に代わり、今度は私たちが子どもたちを可愛がり育てていく役目を担っていると考えています。

教育行政としましては、村民一人一人の生活に潤いが持てるよう、サークル活動や各種教室の推進等、生涯学習環境づくりに努め活気のある村づくりを進めて参ります。また、村民による朝起き会の企画・運営・推進など、島の人々が子どもたちに係わる場づくり等、社会教育の充実を図り子どもたちが自分自身で良いという自尊心の醸成と島への愛着と誇りを抱けるように

教育行政を推進して参ります。

グローバル化した社会で自己を發揮し世界に活躍する人材の育成と明日の渡名喜島を創り育てる人材づくりに向け、「人材をもつて資源となす」ことを教育行政の根幹に据え、村民皆様と共に心を合わせ頑張つて参りたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



渡名喜村役場
人事報告

令和2年度渡名喜村役場事務分掌

令和2年4月1日付

総務課

課長	又吉 栄	課の統括
係長	比嘉 宏明	固定資産税・消防防災 情報管理
主任	桃原 和也	財政事務
主任	桃原 大起	人事給与・広報
主任	比嘉 淳一	企画事務
主事	大城 斉子	戸籍・統計事務・住民基本台帳
主事	渡口 智文	住民税・税務係

会計課

会計管理者兼課長	渡口 学	課の統括
主事	比嘉 和也	出納事務・選挙管理委員会

教育委員会

課長	南風原 功夫	課の統括
課長補佐	比嘉 朗	社会教育
主事	南風原 かおる	学校教育
主幹教諭	中村 友江	幼稚園教諭
会計年度任用職員	又吉 恵	幼稚園教諭補助

議会事務局

局長	比嘉 秀正	事務局の統括・議事関係事務
----	-------	---------------

民生課

課長	又吉 守	課の統括
課長補佐	桃原 聡	水道事業・民生委員
主任	徳元 康志	国民健康保険・後期高齢医療
主任	桃原 美土李	国民年金・援護・障害福祉
保健師	阿部 裕美	保健事業全般
会計年度任用職員	保健師	
	藏本 彩花	
会計年度任用職員	母子保健	
	桃原 さとみ	
児童福祉・介護保険・生活保護・老人福祉		
会計年度任用職員		
	亀谷 聖	環境衛生・狂犬病等

経済課

課長	上原 貞則	課の統括
主任	渡口 幸太	農業・畜産・農業委員会 耕作放棄地対策協議会
主事	比嘉 宏樹	下水道事業・林務・防衛調整交付金
主事	桃原 望	商工観光
会計年度任用職員		
	渡口 泰章	水産・土木・建築

令和2年度会計年度任用職員の紹介



民生課
一般事務
桃原 さとみ



民生課
保健師業務
藏本 彩花



教育委員会
幼稚園教諭

又吉 恵



民生課
一般事務
亀谷 聖



経済課
一般事務
渡口 泰章



令和元年度
定年退職

令和元年度3月31日に退職辞令交付されました。

退職者 桃原 さとみ (勤続17年)

長年の勤務お疲れ様でした。

平成30年度 決算状況の公表

1. 平成30年度一般会計決算額

平成30年度一般会計の歳入決算額は、12億1,634万1千円で前年度比1億7,350万8千円の増加となりました。歳出の決算額は10億4,245万6千円で、前年度比2億6,321万8千円の減少となりました。歳入から歳出を差し引くと、1億7,388万5千円の黒字決算となり、このうち翌年度に繰り越すべき財源1千439万9千円を差し引いた実質収支は、1億5,948万6千円となりました。

単位：千円

歳入科目	金 額	構成比	歳出科目(目的別)	金 額	構成比	歳出科目(性質別)	金 額	構成比
村 税	24,748	2.0%	議会費	34,781	3.3%	人件費	213,860	20.5%
地方贈与税	2,309	0.2%	総務費	280,222	26.9%	物件費	280,911	27.0%
利子割交付金	23	0.0%	民生費	112,425	10.8%	扶助費	23,095	2.2%
配当割交付金	38	0.0%	衛生費	255,700	24.5%	補助費等	47,338	4.5%
株式等譲渡所得割交付金	34	0.0%	労働費	0	0.0%	公債費	65,666	6.3%
地方消費税交付金	6,687	0.6%	農林水産業費	70,863	6.8%	積立金	113,477	10.9%
自動車取得税交付金	673	0.1%	商工費	110,508	10.6%	繰出金	71,448	6.9%
地方特例交付金	0	0.0%	土木費	6,240	0.6%	投資的経費	226,664	21.7%
地方交付税	527,253	43.4%	消防費	23,561	2.3%	その他	0	0.0%
分担金及び負担金	812	0.1%	教育費	82,490	7.9%			
使用料	2,962	0.3%	公債費	65,666	6.3%			
手数料	335							
国庫支出金	179,738	14.8%						
国有提供施設等 所在市町村助成交付金	6,632	0.6%						
県支出金	129,560	10.7%						
財産収入	14,397	1.2%						
寄付金	2,038	0.2%						
繰入金	18,033	1.5%						
繰越金	84,175	6.9%						
諸収入	16,240	1.3%						
地方債	199,654	16.4%						
歳入合計	1,216,341	100%	歳出合計	1,042,456	100%	歳出合計	1,042,459	100%

2. 平成30年度一般会計決算額

平成30年度

単位：千円

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	翌年度に繰り越すべき財源	実質収支
1,216,341	1,042,456	173,885	14,399	159,486

3. 平成30年度の主な事業

議会費	—		村社会福祉協議会補助金	11,796千円
総務費	渡名喜村特定防衛施設周辺整備 調整交付金事業基金積立金	72,551千円	渡名喜村多目的拠点施設 備品購入費	9,072千円
	財政調整基金積立	39,065千円	介護サービス事業費	4,141千円
	統一的基準に伴う財務書類 作成業務委託費	2,071千円	地域支援事業実施委託料	1,948千円
	公共施設総合管理計画保守業務委託費	1,512千円	障害福祉サービス費	11,612千円
	カーフェリーターミナル耐力度調査 委託業務	1,350千円	介護給付負担金	8,013千円
			要介護認定に係る負担金	3,596千円
			地域支援事業に係る負担金	1,209千円
衛生費	住民健診、がん検診等委託料	1,435千円	地域包括支援システム保守委託費	414千円
	予防接種事業	600千円	こども医療費助成現物支給	3,013千円
	妊婦健診	155千円	対応システム改修費	
	乳幼児健診	410千円	介護予防支援事業委託料	337千円

衛生費	環境保全・美化推進事業費	5,096千円
	海岸漂着物対策事業委託費	3,552千円
	リサイクルセンター基本設計及び 実施設計業務委託費	8,100千円
	ごみ焼却施設解体工事費	158,976千円
農林水 産業費	肥料撒きトラクター購入費	2,159千円
	業務用冷蔵庫購入費	443千円
	離島漁業再生支援交付金	8,024千円
	海神祭運営補助金	300千円
	多目的活動施設自動火災報知設備 受信機取替工事	550千円
商工費	環境保全・美化推進事業費	15,980千円
	観光振興整備事業実施設計業務委託費	9,720千円
	観光案内所建築工事（観光振興整備事業）	55,032千円
	環境衛生車等車庫解体工事費	7,970千円
土木費	海浜浄化人夫賃金	1,051千円
	多用途住宅清掃作業員賃金	345千円

消防費	急患搬送車購入費	7,322千円
	J-ALERT4 更新事業委託費	3,748千円
	J-ALERT4 更新事業委託費 （自動起動機）	2,916千円
	ヘリポート吹流し購入費	97千円
教育費	小学校各種大会派遣費	628千円
	中学校各種大会派遣費	1,463千円
	離島高校生修学支援費	2,160千円
	修学旅行費（小学校）	403千円
	栄養価計算システム購入費	227千円
	小中学校PTA補助金	100千円

4. 用語解説ほか

①一般会計…福祉や教育、道路整備、議会運営などを行うための基本的な経費の会計です。

歳入の区分	内 容
村 税	村民税、固定資産税、軽自動車税など村に納付された税金
地 方 交 付 税	国による地方への財源
国・県支出金	村が国や県に代わって行う事業や公益性の高い事業に、国や県から交付されたお金
繰 越 金	一会計年度から翌年度に持ち越された余りのお金
村 債	事業を行うために、村が国や関係機関から借り入れたお金

歳出の区分	内 容
議 会 費	議会運営のために使ったお金
総 務 費	村の総括的な事務や事業に使ったお金
民 生 費	高齢者、障がい者、児童などの福祉事業に使ったお金
衛 生 費	保健衛生、ごみ収集処理に使ったお金
労 働 費	失業対策などに使ったお金
農林水産業費	農林水産業の振興などに使ったお金
商 工 費	商工振興などに使ったお金
土 木 費	道路などに使ったお金
消 防 費	防災、救急活動などに使ったお金
教 育 費	学校運営費用や図書館、文化財の保護などに使ったお金
公 債 費	村の借金返済に使ったお金

②特別会計…特定の事業を行うために一般会計と区別して処理する会計です。

単位：千円

会 計 名	歳 入 額	歳 出 額	収 支 額
国 民 健 康 保 険	87,324	74,807	12,517
後 期 高 齢 者 医 療	7,512	6,672	840

③企業会計…地方公営企業法の適用をせず、地方自治法、地方財政法等の適用を受ける事業

単位：千円

会 計 名	歳 入 額	歳 出 額	収 支 額
簡 易 水 道 事 業	60,238	40,225	14,836
農 業 集 落 排 水 事 業	11,018	10,645	373

④基金（預金等）及び地方債現在高（借金）の状況事業

単位：千円

会 計 名	平成29年度末残高	平成30年度末残高	増 減 額
財 政 調 整 基 金	375,705	396,737	21,032
減 債 基 金	1,722	1,722	0
一 般 会 計 目 的 基 金	42,037	116,449	74,412
土 地 開 発 基 金	28,209	28,209	0
産 業 育 成 貸 付 基 金	32,589	32,712	123
国 民 健 康 保 険 基 金	10,915	10,915	0
簡 易 水 道 事 業 積 立 基 金	11	11	0
農 業 集 落 排 水 事 業 基 金	2,830	2,830	0
基 金 等 合 計	494,018	589,585	95,567

5. 村民1人あたりの村税負担額・使われたお金 令和元年5月末人口：366人

●村民1人あたりの村税負担額 67,618円 ●村民1人あたりに使われたお金 2,848,240円

村 民 税 36,172円
 固定資産税 22,784円
 軽自動車税 2,539円
 村たばこ税 6,123円

議 会 費 95,031円 商 工 費 301,935円
 総 務 費 765,635円 土 木 費 17,050円
 民 生 費 307,171円 消 防 費 64,374円
 衛 生 費 698,633円 教 育 費 225,382円
 労 働 費 0円 公 債 費 179,416円
 農林水産業費 193,614円

平成30年度 決算に基づく財政健全化判断比率等の公表

平成19年6月に市町村の財政の「早期健全化や公営企業の経営の健全化」などを目的に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が公布されました。この法律では、すべての都道府県や市町村が財政健全化判断比率や資金不足比率を算定し、監査委員の審査に付した上で議会に報告し、住民(村民)の皆さんに公表することになっております。

平成30年度の渡名喜村の財政健全化判断比率と資金不足比率については下記のとおりです。

渡名喜村の算定結果

①渡名喜村の健全化判断比率

区 分	健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準
実 質 赤 字 比 率	—	15.00	20.00
連 結 実 質 赤 字 比 率	—	20.00	35.00
実 質 公 債 費 比 率	9.5	25.00	35.00
将 来 負 担 比 率	—	350.00	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率が0.0%以下の場合及び実質公債費比率又は将来負担比率が算定されない場合は“—”で表示。

②公営企業会計の資金不足比率

会 計 名	資金不足比率	経営健全化基準
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計	—	20.00
農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	—	20.00

※資金不足比率が0.0%以下の場合は“—”で表示。

■用語の意味

実質赤字比率・・・一般会計等の赤字の状況を表す指標

連結実質赤字比率・・・一般会計等に簡易水道や農業集落排水などの会計を加えた全会計の赤字の状況を表す指標

実質公債費比率・・・地方債(村の借金)の単年度返済額の負担の重さを表す指標

将来負担比率・・・地方債の残高や公社・第三セクターにかかる債務など、将来負担しなければならない負担の大きさを表す指標

資金不足比率・・・公営企業ごとの赤字の状況を表す指標

コロナウイルス感染対策における 寄贈マスクについて

令和2年4月28日に、福岡ソフトバンクホークスの東浜巨(投手)選手から渡名喜幼小中学校・村民へコロナウイルス感染対策のためのマスクが寄贈されました。その他、下記のとおり各社からマスクや消毒液が本村に寄贈されました。

会 社 名	代 表 者
福岡ソフトバンクホークス	東 浜 巨
アースウィング(株)	羽 地 万寿雄
アート技研(株)	竹 富 光 秀
(有)あい技建	伊 良 波 勇
(株)協和建設コンサルタント	山 城 治
(株)シビルエンジニアリング	松 川 靖
(株)南伸	久 米 仁 司
(株)沖縄土木設計コンサルタント	比 嘉 敦
沖縄ベンダーサービス(株)	我那覇 生 善



人との接触を8割減らす、10のポイント

緊急事態宣言の中、誰もが感染するリスク、誰でも感染させるリスクがあります。
新型コロナウイルス感染症から、あなたと身近な人の命を守るよう、日常生活を見直してみましょう。

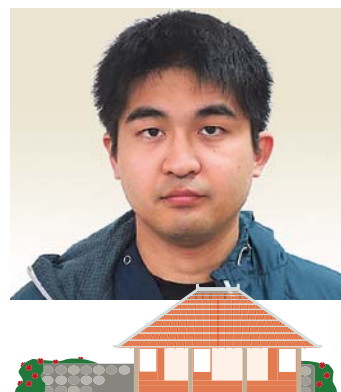
- 1** ビデオ通話で
オンライン
帰省
- 2** スーパーは1人または
少人数ですいている
時間に
- 3** ジョギングは
少人数で公園は
すいた時間、場所を選ぶ
- 4** 待てる買い物は
通販で
- 5** 飲み会は
オンラインで
- 6** 診療は
遠隔診療
定期受診は間隔を調整
- 7** 筋トレや
ヨガは
自宅で動画を活用
- 8** 飲食は
**持ち帰り、
宅配も**
- 9** 仕事は
在宅勤務
物流など社会機能維持
通勤は医療・インフラのために
- 10** 会話は
マスクを
つけて

**3つの密を
避けましょう**
1. 換気の悪い密閉空間
2. 多数が集まる密集場所
3. 間近で会話や発声をする密接場面

**手洗い・
咳エチケット・
換気や、健康管理
も、同様に重要です。**

診療所より
今年度も火曜日午後は「休診」扱いとさせていただきます。予期せぬ体調不良の際は受診可能ですので診療所にご連絡ください。

こんにちは 富名腰朝史(ふなこしともふみ)です。
沖縄県南城市出身です。今は新型コロナウイルス対策の日々ですが、落ち着いたら庭に野菜を植えたり、釣り(初心者)をしたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。



医師紹介



～輝かしい未来への旅立・十五の春～

渡名喜小中学校



ご卒業おめでとう
ございます!

令和元年度

卒業式



令和2年3月7日、渡名喜村立小中学校の卒業式が行われ、小学生3人、中学生1人が卒業しました。先生や在校生、保護者、村民など多くの人に見送られました。学校生活の思い出を胸に、夢や希望に向かって新たな道を歩み始めました。



そつえんおめでとう



幼稚園修了式

渡名喜幼稚園の修了式が令和2年3月7日に行われました。



ご入学・入園おめでとうございます
令和2年4月7日、渡名喜村立幼小中学校の入学式が行われました。今年度は3歳児1人が幼稚園に入園、中学校に3人がそれぞれ入学しました。

渡名喜幼小中学校
令和2年度 入学式

上原林吉氏が子どもたちの学力向上に役立てて欲しいと100万円、学校の要望していた一輪車(子どもたちの運動と遊ぶ道具)の購入代金として20万を寄贈した。

3月24日(火)、学校体育館において全幼児児童生徒の前で、上原林吉氏から生徒会長の比嘉優菜さんと校長先生に目録が手渡された。

林吉氏は子どもたちに「一生懸命勉強し、皆さん全員が医者さんになって欲しい。そして、渡名喜の老人の方々と村民の健康を守って欲しい。」と話し、「本島の子どもたちに負けるなよ。」とエールを送った。

林吉氏は小さい頃、親戚の方の病気に接し、大人になったら医者になるうと決心し猛勉強した。しかし、経済的な事由により医者になることを断念した。そこで、トラックを1台購入し運送会社を始め、今では大型トラックやトレーラーを何十台も所有する運送会社にまで大きくすることが出来た。小さい頃の医者になる思いが達成

子どもたちの学力の向上に役立てと120万円

出来なかったもので、自分の子どもたちに夢を託し、子どもたちの家庭学習に力をいれるとともに塾へも通わした。それによって、子ども2人が医者になった。

自分はふる里「渡名喜島」のことを一度も忘れたことがない。ふる里の海や山、父・母、祖父母、そして島の人々のお陰で現在の自分がある。いつも感謝している。だから、島へ恩返しをしたいと考え、島の将来を担う子どもたちの教育「学力向上」に活用して欲しい。

100万円の使途を教育委員会に委ね、成果が出る状況が見られたら寄付を継続することも考えていると話し、島の子どもたちの学力の向上及び健全な成長に大きな希望を抱いている。

これまでも、鯉のぼりや鯉のぼり、その立てるボールの寄贈、そうめん流し台等、島へ多くのご寄贈を賜り感謝申し上げます。上原林吉氏のご芳志を無駄にすることなく成果が出せるように学校・保護者・地域とともに力を合わせ頑張つて参る所存であります。(教育長 上原 雅志)



とくもと あおし
徳元蒼志くん
2月7日生まれ

●父：徳元康志
●母：徳元歩美

2月7日に、体重2,854gで誕生しました。三男の蒼志です。すくすく元気に育つことを願っております。

これから家族一同よろしく願います。





**令和2年
渡名喜村 成人式**

令和2年1月11日
に渡名喜村多目的活動施設ホールにおいて、令和2年渡名喜村成人式が行われました。



余興の様子

該当者3名のうち、この日のために2名の新成人が帰島し、式典に参加しました。当日は、渡名喜小中学校児童生徒や、新成人の保護者、村民による余興等が行われ、多くの人々が新成人の門出を祝福しました。新成人は、大人としての新しい一歩を踏み出しました。



村から記念品の贈呈



余興の様子



ご成人おめでとうございます。



又吉 立裕さん



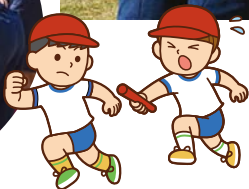
中里 拓人さん



TONAKI 渡名喜幼小中学校 スポーツフェスタ 2019

渡名喜幼小中学校TONAKIスポーツフェスタ2019が、10月26日(土)に開催されました。

子どもたちのかけっこやリレーでの赤組、白組の応援合戦や、PTAレクでは保護者の白熱した戦いが会場を沸かせました。





祝 敬老会

令和元年度敬老会が9月27日(金)多目的活動施設で行われました。
アイモ「さん司会進行のもと、村より対象者75名、百歳2名、米寿7名、カジマヤー1名の方々に祝い金や敬老年金が交付されました。

また、玉城流踊り飛琉による踊りや照屋政雄による余興も行われ、締めのカチャシーはこの日一番の盛り上がりを見せ、参加者皆で長寿をお祝いしました。

うちな〜島の“じょーとーむん”が大集合!

離島フェア

11月15日から3日間にわたり

行われた離島フェアに、村からも役場経済課の他、渡名喜村漁業と生活改善グループが参加し島のPRや特産品の販売を行いました。

ふくぎのフーちゃんも会場内で渡名喜島のPRを行い、うちなやパンフレットの配布に協力してくれました。

渡名喜のブースはすべての特産品が完売となるなど、例年以上の賑わいを見せていました。



体育の日

パークゴルフ大会

2019

10月14日に『体育の日パークゴルフ

大会 2019』が開催され大人41名、子供9名合計50名の参加者が集り、家族や友人同士でのチームでコースを回り、賑やかな大会となりました。



火の用心



令和2年

出初め式



渡名喜村消防団の出初め式が、令和2年1月7日、村内にて行われました。村内に設置されている消火栓の確認や点検、放水訓練を実施しました。消防団員として災害から地域を守る決意を新たに、自覚をさらに深めることができました。

役場からのお知らせ

**令和元年度 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業は
下記の事業を実施いたしました。**

特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、購入しました。



消防車両購入事業



乗用草刈機購入事業

事業の目的

住民からの要望により、1日の家庭ごみの収集(月・水・金)を、午前・午後の2回収集することによって、ごみの出し忘れや、帰村した方が午後にでもごみを出せる環境を整え、地域住民の生活環境の向上を図っている。

収集実績：令和元年度実績(8月から2月まで)148日実施

環境衛生施設維持運営事業

収 集 状 況

燃やせるごみ

燃やせないごみ

生ごみ

毎週月・水・金曜日は燃えるごみを収集、火・木曜日は燃えないごみを収集しています。

焼却灰

空き缶プレス

肥料化



集落内より収集したごみは、施設で焼却・プレスされ島外へ搬出処分を行い、生ごみは木くずと混合・発酵させ肥料化し、公共施設等の植物の肥料として利用しております。

渡名喜小学校遊具購入



幼児期は遊びを通して生涯にわたる人格の基礎を形成していくと言われ、自然の事物事象に直接触れたり、遊具や運動器具等を通して仲間と仲良く遊ぶ環境が必要になると考えています。

人間の発育において、ゴールデンエイジと呼ばれる9歳から12歳の時期までには、神経系の発達がほぼ完成に近づくと言われていることから、幼児期から小学校までの間に、運動における多種多様な動作を経験させることが必要になると考え、今回、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業で登り棒と雲梯を設置することが出来た。

設置した後、アンケートを実施した結果、多くの子供達、保護者、先生方から、「設置してくれて良かった」、「体育の授業で活用している」「チャレンジしている姿が見受けられる」「コミュニケーションの場として利用されている」といった評価を貰いました。

来年度は、子供達の遊ぶ場及び運動の場、コミュニケーションの場としてシーソーやザイルクライミングを設置する予定です。

品 名	メーカー・規格・仕様等	数 量
アナログミキサー	YAMAHA MG16XU	1
スピーカー	Electro-Voice ZLX12P	4
イコライザー	ART EQ355	2
マイクケーブル10m	4e6s black	10
マイクケーブル20m	4e6s blue	4
マイクロフォン	SHURE SM58SW	6
スピーカースタンド	CLASSIC PRO CP SPS	4
マイクスタンド	CLASSIC PRO CP MSB	4
卓上マイクスタンド	CLASSIC PRO CP MSTB	2
ワイヤレスマイク	Audio-technica ATW-1102	2
各種接続ケーブル	一式	1
機材運搬費	一式	1

令和元年度
コミュニティ活動促進事業(祭事用音響機器購入)を活用し、購入いたしました。

広報となき2020・1月号のお詫びと訂正について

広報となき2020・1月号「表紙」及び4ページのとなき祭りの記載に一部誤りがありました。

お詫びして下記のとおり訂正致します。

※表紙 【誤】「第101回水上運動会」⇒【正】「TONAKIスポーツフェスタ2019」

※4ページ 【誤】「となき祭り2020」⇒【正】「となき祭り2019」

学びの体験事業

ことなく、高梨小の子どもたちとすぐに

昨年度に始めた秋田県学びの体験事業、今年は小学5・6年生8名を加え、中学生5名、教師7名、事務局1名の21名が秋田県大仙市の高梨小学校と仙北中学校で2日間の交流学习を行った。

この事業は秋田の行事等への参加ではなく、秋田の子どものための授業に取り組みの様子や友達との関わり方を目的に、朝から下校時までの通常の授業や学校生活に入れてもらうものである。

かつて、沖縄本島の学校との交流学习で日頃は活発に活動し意見もはっきり言えていた子どもが、泣き出したり他と交わることもせず一人固まっている状況があったので、今回、長旅の疲れや見知らぬ土地・学校なので小学生は大丈夫かなと心配していた。

ところが、高梨小学校の丁寧な迎えや優しい気遣いにより、渡名喜の子どもたちは気負けず



仲良くなり、渡名喜の子どもたちがどこにいるのか分からないほどに同化していた。初日、交流学习を終えて宿舎に戻ってきた小学生が「とても楽しかった。ああ〜！交流学习も明日までか。もつと秋田に居たいな。」と話していた。

2日目になると、秋田の子どもの学ぶ姿に触発された渡名喜の子どもたちは、授業に真剣に臨み、グループ学習にも積極的に関わり自分の意見や考えをしっかりと述べるようになっていた。子どもは環境が整うと主体的に学習するように

なるものだと痛感し、子どもの可能性の大きさを再認識することができた。中学2・3年生は昨年度も交流学习を行なっているの、久しぶりに会える仙北中学校の生徒や教師、メール交換している友達に会える期待感で胸がワクワクしているようであった。中学1年の



二人は少々緊張きみであったがすぐに打ち解けていった。

秋田では小学校と中学校とも、子どもたちは登校するとすぐに読書を始め、中学校では教師がいなくても生徒たちで学級会を始めていく。掃除はマイ雑巾(自分の雑巾)を持ち、廊下やトイレ、階段等を丁寧に拭いていく。

怠ける人は誰もいない。また、笑顔の挨拶が自然におこなわれていて、相手の話に相槌を打ちながらしっかりと聞いている。このような子どもたち自ら率先して行動し、相手を大切に思う姿に渡名喜の子どもたちは驚いていた。

教師にとっても、授業のマネジメントや、問いの仕方、子どもへの支援のあり方、支持的風土のある学校(他を認め尊重しあう環境)を直に見られたことは多くの収穫があった。

帰りに大阪に立ち寄り大阪探索を行なっ



た。大阪国際大学の学生の案内で日本一高いビル、アベノハルカスや道頓堀、梅田駅周辺の人混み、大阪城等大都会とそこに暮らす人々の様子を直接体験した。広い世界を見て、井のなかの蛙”からの脱却のことについて思いをめぐらしたと思う。

今年はフェリー運航の関係で昨年より2日長い、5泊6日の長い期間であることや、秋田に入るのが夜の8時過ぎ、沖縄本島に帰ってくるのが夜の10時過ぎの強行なスケジュールであったので、保護者はかなり心配していた。しかし、交流学习を終えた子どもたちの姿や「秋田に転校したい」と言い出す子どもをみて、可愛い子には旅をさせる”この大切さを感じていた。

子どもたちは「秋田の人々の人を温かく向かい入れる優しさ」と「真剣に学び合う姿」に多くのことを学ぶことができた。

秋田の交流学习を通して、明日の渡名喜を担う子どもたちの健やかな成長と確かな学力の定着が図られることを願うのである。

サークル活動に参加してみませんか

教育委員会として村民が未来に希望の持てる村にするためには、村民の資質の向上に頼るしかないと考え、本村振興として「人材をもって資源となす」を基軸にすえて村教育施策に「潤いと生きがいのある生涯学習社会の推進」を掲げ社会教育の推進を行っている。

そこで、基本的な考えとして個人の生きがいづくりを進めいくと、個々の資質の向上を図ることにつながり、その活動によって村民の絆が築かれ、村興しの原動力につながるものになると考え策定している。

村民の学びたい意欲に応えるために「いつでも・どこでも誰もが」学べる学習環境づくりを行ない、学び合い高め合う村の風土の醸成を図るために各種サークル活動を始めた。

これまでは、バトミントン愛好会が定期的に活動を行っていましたが、昨年度から三線サークル、英会話教室、バレーボール愛好会が発足し毎週定期的に活動を行っている。現在、カラオケサークルを募集していて近々数グループが活動を始める予定である。

村民の学ぶ意欲の向上を目指した 各種サークル活動

① 三線サークル活動

「三線サークル」は現在11名で、上原行雄氏を講師として週1回活動している。初心者ばかりなので、初級の「阿波節」から始め、2曲目の「安里屋ユンタ」3曲目の「渡名喜村賛歌」4曲目の「上り口節」に取りかかり、渡名喜祭りや村敬老会に出演することを目指している。「1曲弾けるようになり楽しくなった」「楽しみが生まれ1週間があっという間に過ぎてしまう」等と感想を述べている。



※三線がなくても初心者でも大歓迎です。

② 英会話教室

「英会話教室」は現在8名で、ALTのアーロン先生を講師として、週1日英会話を学習している。ちゃんとした会話にはならなくても間違えても平気なので、活発に自由に会話を楽しんでいる。教室は明るいムードでいつも笑いがあり、1時間があっという間に過ぎていく。「外国旅行するのが楽しみになってきた。」と話している。



③ カラオケサークル

毎週日曜日の夕方に多目的活動施設で行われています。現在3名の方が加入しており、楽しく歌の練習をしています。全員の目標は「渡名喜祭り」で練習した歌を披露することです。

※グループ、家族等どなたでも自分の好きな時間を選んで申し込みが出来ます。





日本国内に住むすべての人と世帯を
対象とした5年に一度の大調査

開始100年の 国勢調査、 はじまります

いまを知る。

その積み重ねが、未来をつくってきた。

我が国では100年前から国勢調査の結果を
国や地域が進む道筋を立てるために活用してきました
令和2年、あなたと、日本にいる全員が希望を描ける未来へ
開始から100年をむかえる令和最初の国勢調査が、はじまります

国勢調査 2020



総務省統計局・都道府県・市区町村

開始から100年をむかえる 令和2年国勢調査

国勢調査は、日本の未来をつくるために必要な、大切な調査です。

国や地方公共団体が正確な統計に基づいて、公正で効率的な行政を行うためには、日本に住むすべての人・世帯に漏れなく、正確な回答をしていただく必要があります。

令和2年国勢調査へのご協力・ご支援をお願いします。



令和2年に実施する国勢調査は開始から100年
大正9年の第1回調査は「文明国の仲間入り」が合言葉

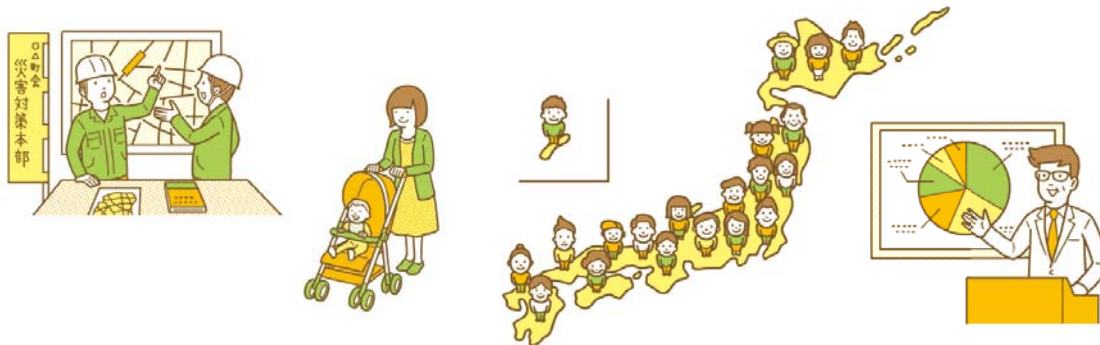
第1回の国勢調査は、計画から実施まで実に長い年月が費やされ、法律制定後からだけでも20年近くの年月を要しました。それだけに、統計関係者はもちろんのこと、国民も「文明国の仲間入り」を合言葉に大変な意気込みでこの調査に臨みました。名士による講演会、新聞の華々しい報道のほか、旗行列、花電車などの広報活動を展開、当時としては珍しいポスターも各地に貼りだされました。調査の行われた10月1日午前零時の前後には、各地でサイレン、大砲が鳴り、お寺やお宮では鐘、太鼓を鳴らし、文字どおり鳴り物入りのお祭り騒ぎで国を挙げての一大行事となりました。



〈調査の結果は、さまざまな行政施策の基礎データとして利用されます〉

調査の結果から得られる人口は、我が国の人口の基本となる法定人口として、選挙区の区割りや地方交付税の算定の基準などに利用されます。

また、男女・年齢別人口、世帯人口、世帯構成（高齢者のいる世帯など）、産業別の人口などの統計は、国や地方公共団体の社会福祉、雇用、環境整備、災害対策などをはじめとして、あらゆる施策の基礎データとして利用されます。民間企業等においても、様々な分野で幅広く活用されています。



令和2年10月1日に国勢調査を実施します

日本国内に住むすべての人と世帯が対象です。



国勢調査2020キャンペーンサイト

国勢調査

検索

<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020campaign/>



戦没者等のご遺族の皆さまへ 第十一回特別弔慰金が支給されます

請求期間 **令和2年4月1日**から**令和5年3月31日**まで

支給対象者

令和2年4月1日(基準日)時点で、「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」等を受ける方(戦没者等の妻や父母)がいない場合に、**次の順番による先順位のご遺族お一人に支給**します。

戦没者等の死亡当時のご遺族で

- 1 令和2年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方
- 2 戦没者等の子
- 3 戦没者等の ①父母 ②孫 ③祖父母 ④兄弟姉妹
※戦没者等の死亡当時、生計関係を有している等の要件を満たしているかどうかにより、順番が入れ替わります。
- 4 上記1～3以外の戦没者等の三親等内の親族(甥、姪等)
※戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上の生計関係を有していた方に限ります。

支給内容

額面25万円、5年償還の記名国債

請求窓口

お住まいの市区町村の援護担当課

留意事項

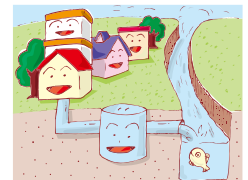
- ・特別弔慰金は、ご遺族を代表するお一人が受け取るものです。ご遺族間の調整は、記名国債を受け取った方が責任を持って行うことになります。
- ・請求期間を過ぎると請求できなくなりますので、ご注意ください。

詳しくは、お住まいの都道府県・市区町村の援護担当課にお問い合わせください。



下水道は正しく使いましょう

村内の下水道は、地理的制約から道路内にあるマンホールに圧送用ポンプを設置し、汚水の圧送を行っている場所があります。近ごろ、布切れや油類、髪の毛などさまざまな異物の混入があり、ポンプ内で異物が詰まり、ポンプの故障・停止する事態が発生しております。



下水道は正しく使用してください

■台所のゴミや廃油を流さないでください

野菜クズや残飯、天ぷら油などは排水管を詰まらせたり、処理場の機能を低下させる原因になります。



■原則トイレトーパー以外のものは流さないでください

水に溶けない紙、紙おむつ、タバコ、ガム、ビニールなどを流すとつまりの原因になります。また、汚物を流す水量を極端に少なくするとつまりの原因になります。



■有害物質は流さないでください

ガソリン、シンナー、石油、アルコールなど、揮発性の高い有害物質・危険物を流すと、管の中で爆発したり、管を痛めることがあります。また、土砂や木片、ビニールなどをすてないようにしましょう。



急患や緊急時の連絡先は 電話119番

固定電話（IP電話含む）、携帯電話から「119」へダイヤルすると
沖縄県消防指令センター職員（消防職員）が24時間体制で緊急通報を受け付けします。